

JF日本語教育スタンダード

2019.9.7(土)

令和元年度 文化庁日本語教育大会 東京大会



国際交流基金日本語国際センター
専任講師主任 築島史恵

1

① 言語教育における「スタンダード」

- その言語の教育や普及に関する一定の目的や理念とともに、その言語の言語教育環境をデザインする際の枠組みや目安を提供するもの
 - × 拘束するもの
 - × 完成したもの

※JF日本語教育スタンダード



コースデザイン、授業設計、評価を
考えるための枠組み、ツール

2

① JF 日本語教育スタンダードの理念

- 文化を異にする人々が共に生きていく社会状況の中で、多くの言語の1つとして日本語を位置づける

⇒「相互理解のための日本語」(2005年～)

* 課題遂行能力

コミュニケーション
= 共同行為

領域・場

* 異文化理解能力

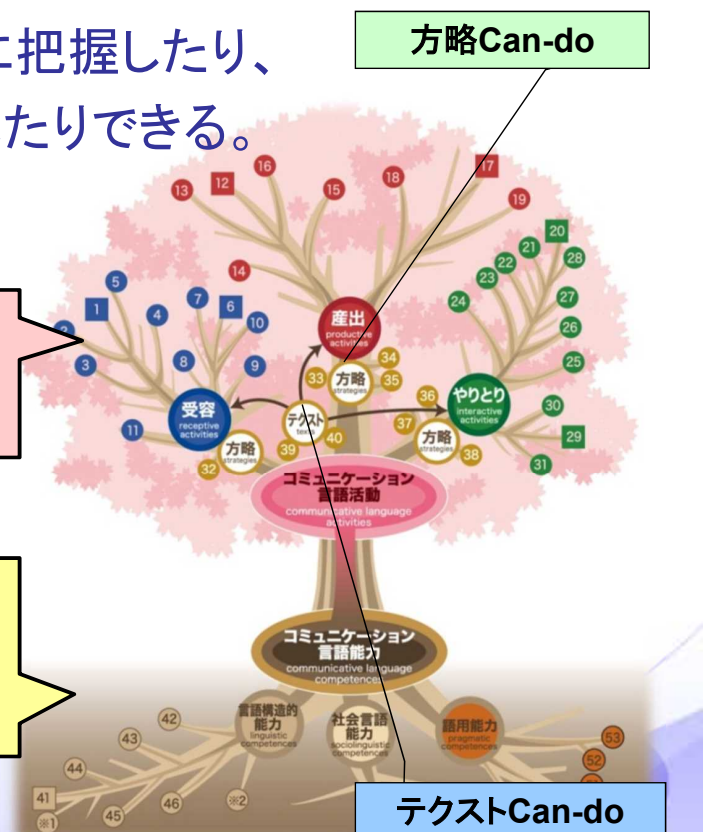
母語話者の日本語
≠ 理想・モデル

② JFスタンダードの木

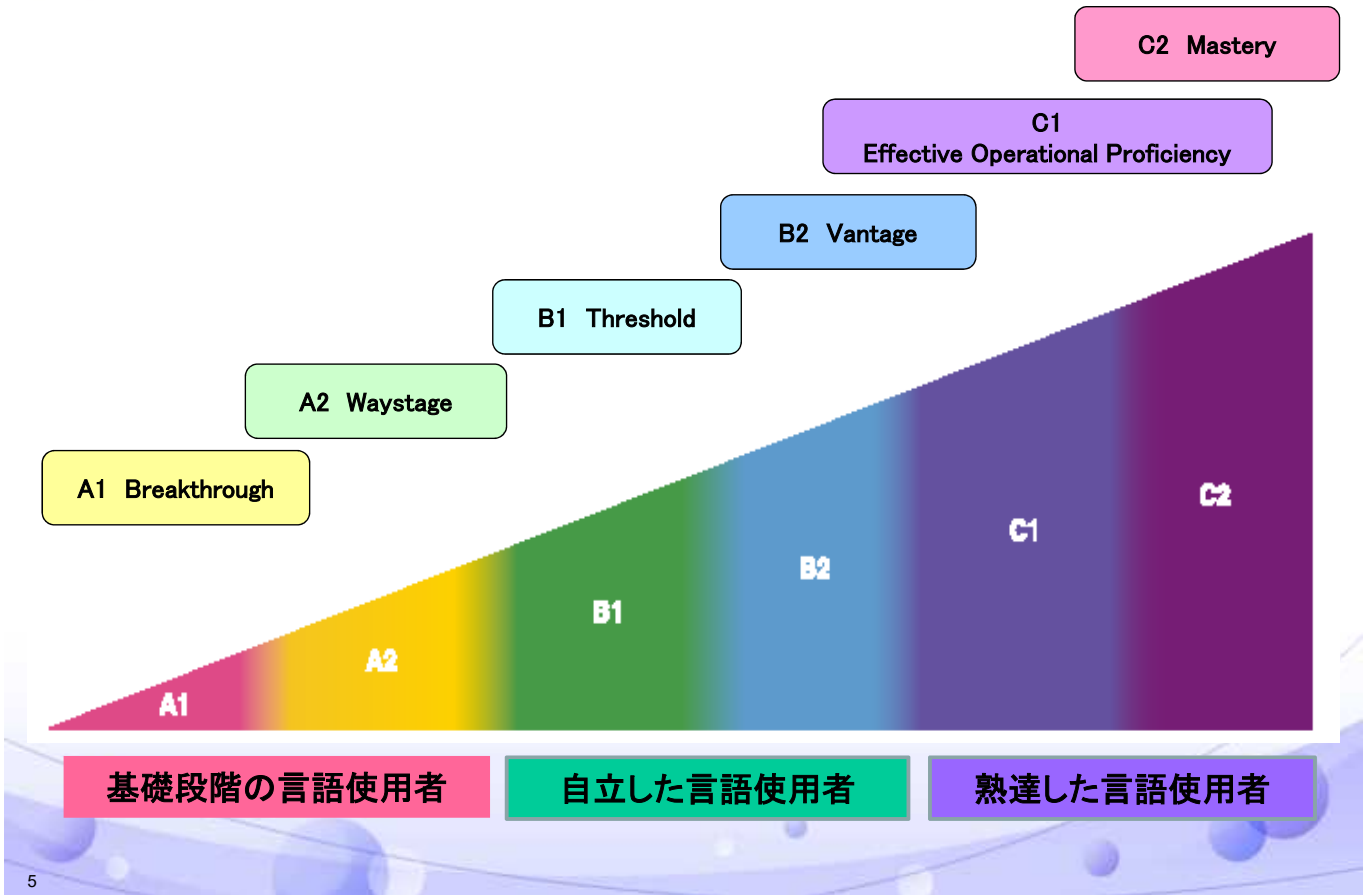
日本語の熟達度を客観的に把握したり、
学習の目標を具体的に示したりできる。

活動Can-do
実社会で行う具体的な言語活動

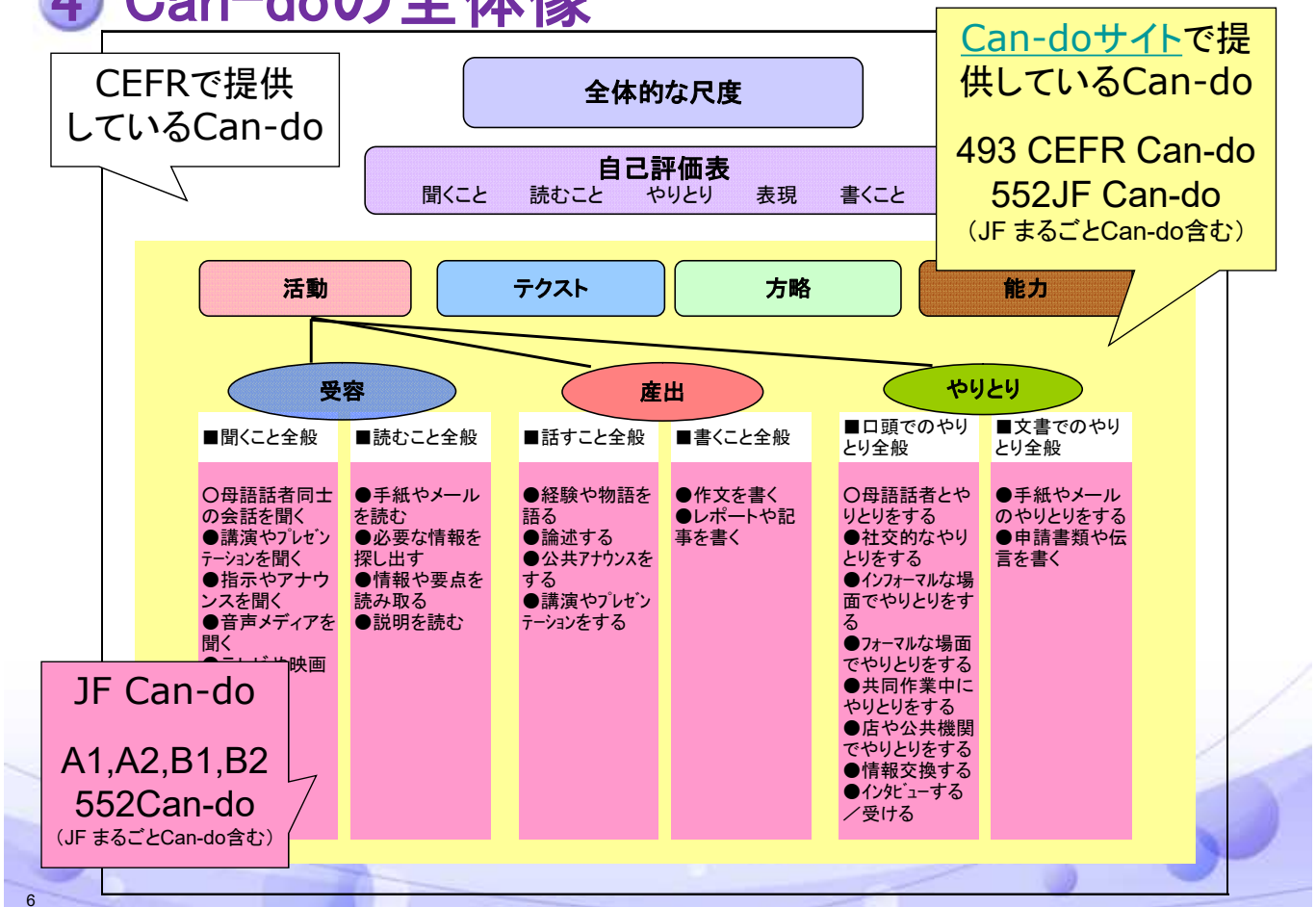
能力Can-do
言語活動を行うために必要な
言語能力



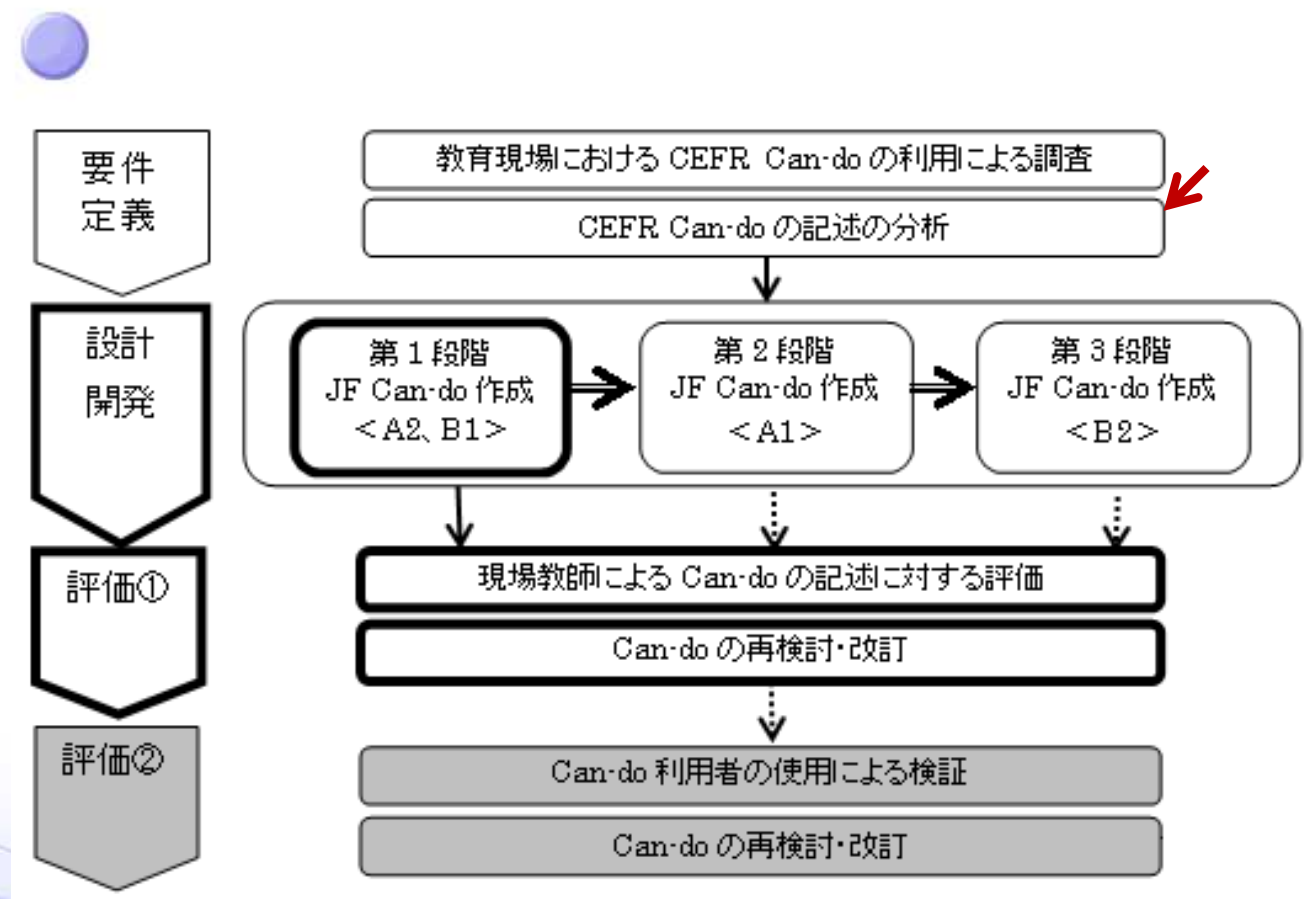
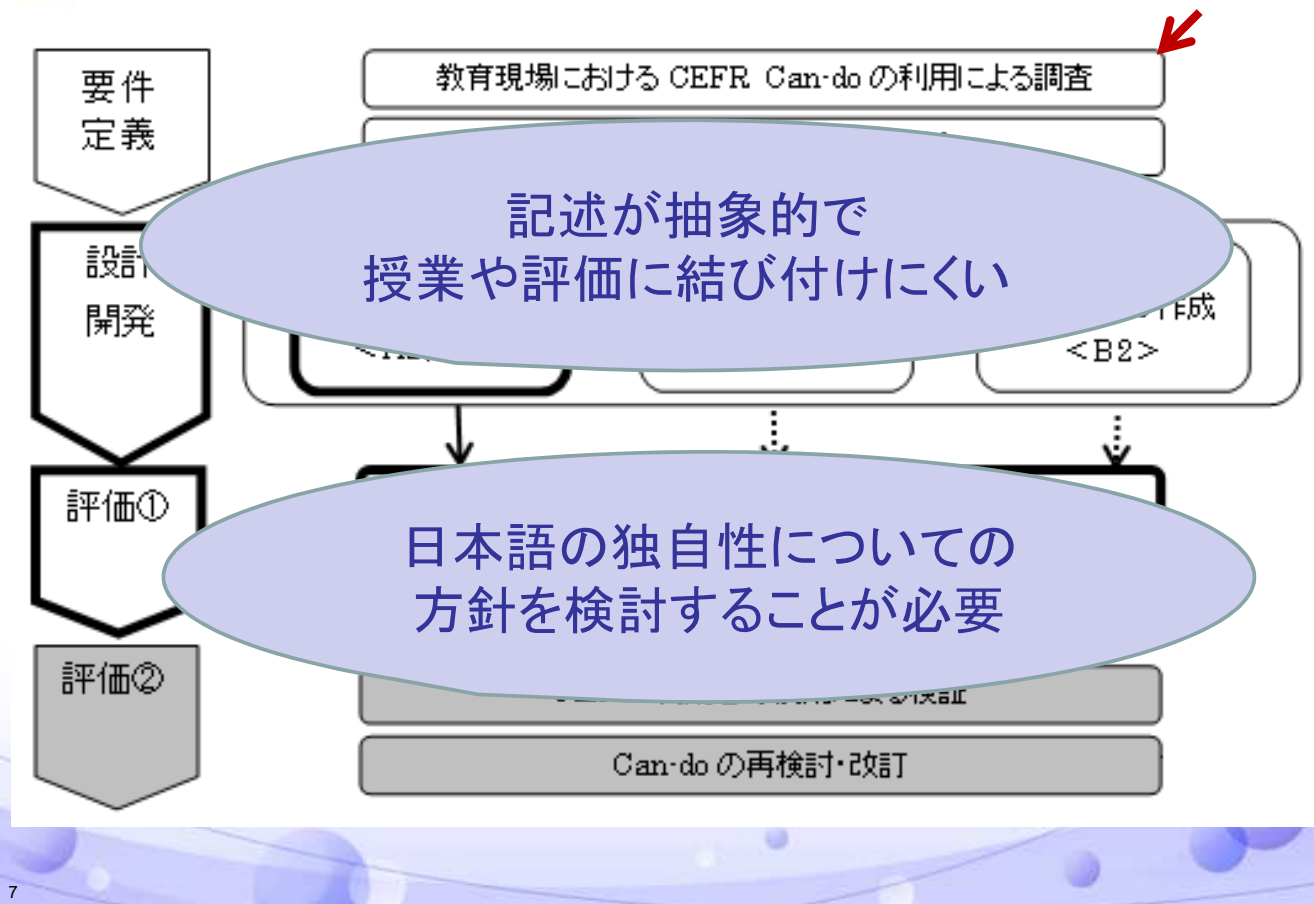
3 言語熟達度(レベル)



4 Can-doの全体像



5 JF Can-doの作り方



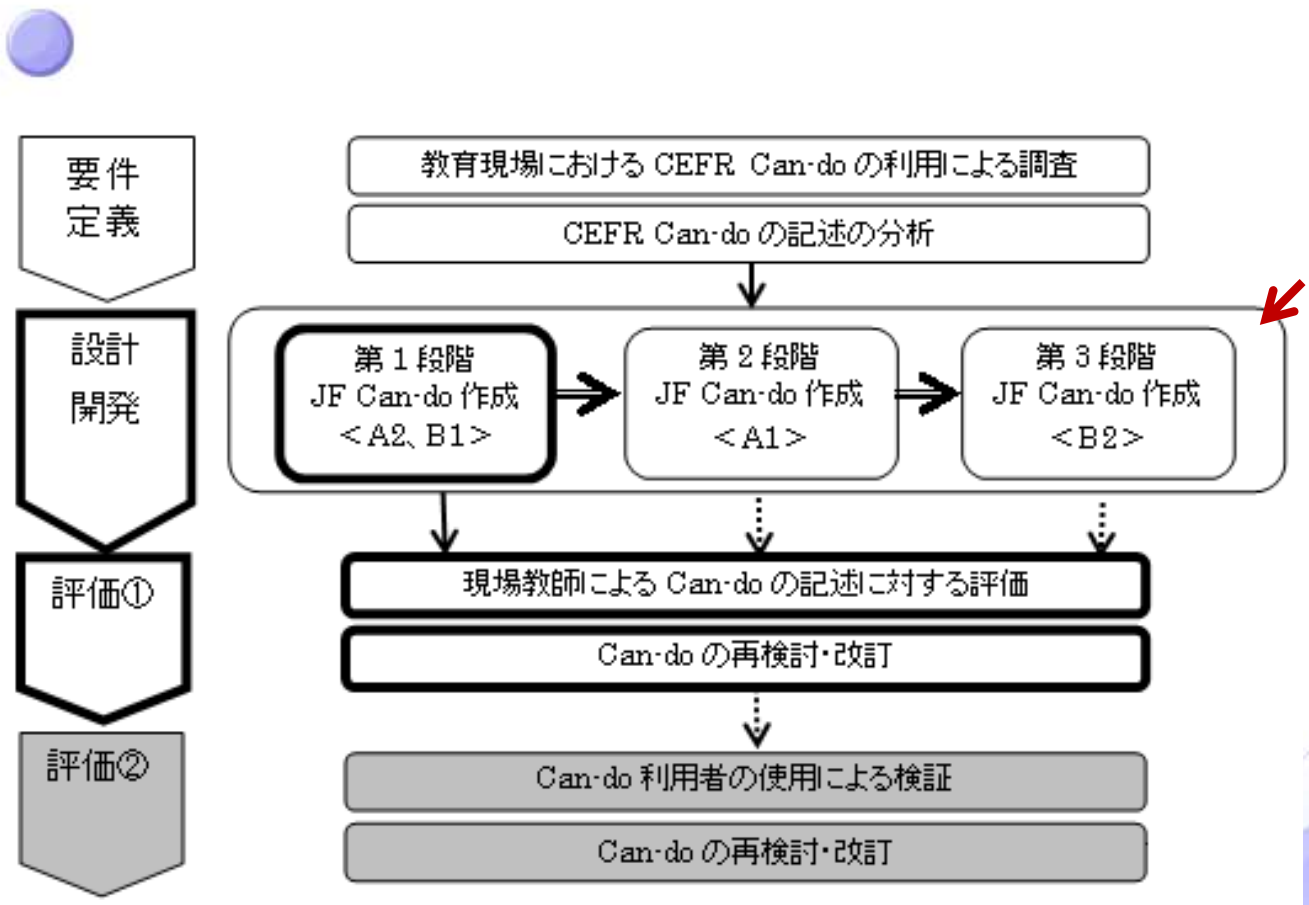
CEFR Can-do の記述の特徴を分析

活動 Can-do = 条件 + 話題・場面 + 対象 + 行動

活動Can-doの例【⑪テレビや映画を見る】

B1	話し方が比較的ゆっくりと、はっきりとしていれば	本人の関心事である話題について	インタビュー、短い講演、ニュース、レポートなど 多くのテレビ番組の	内容をおおかた理解できる
A2	映像と実況説明がほとんど重なるならば	出来事や事故を伝える	テレビのニュース番組の	要点がわかる

9



10

NCの研修で作られていた目標記述

①言語活動を を確認

受容／産出／
やりとり

CEFRの枠組み

トピックが
ついていた
自分と家族、旅
行と交通、買い
物など

③レベルを確認 A1～C2

②カテゴリー を確認

【説明を読む】
【情報交換する】
【経験談や物語
を語る】など

JF Can-do

11

<例>

活動Can-do 受容？

町を紹介するテープを聞いて内容を理解し、

能力Can-do？

そこで学んだ語彙や文型を使って、

自分の知っている町について話すことができる

カテゴリーは？

活動Can-do
産出？やりとり？

レベルは？CEFRの構造モデルに合わせると？

12

産出 13 経験や物語を語る 《旅行と交通》

A2

お土産を渡しながら、休み中に行った場所や出来事などについて、短い簡単な言葉で友人に語るができる。

B1

お土産を渡しながら、休み中に行った場所や出来事などについて、まとまりのある話を友人に語るができる。

13

6 CEFR Can-do と JF Can-do

B1

CEFR: 事柄を直線的に並べていって、比較的流暢に、簡単な語り、記述ができる。

自分の感情や反応を記述しながら、経験を詳細に述べるができる。

JF : お土産を渡しながら、休み中に行った場所や出来事などについて、まとまりのある話を友人に語るができる。

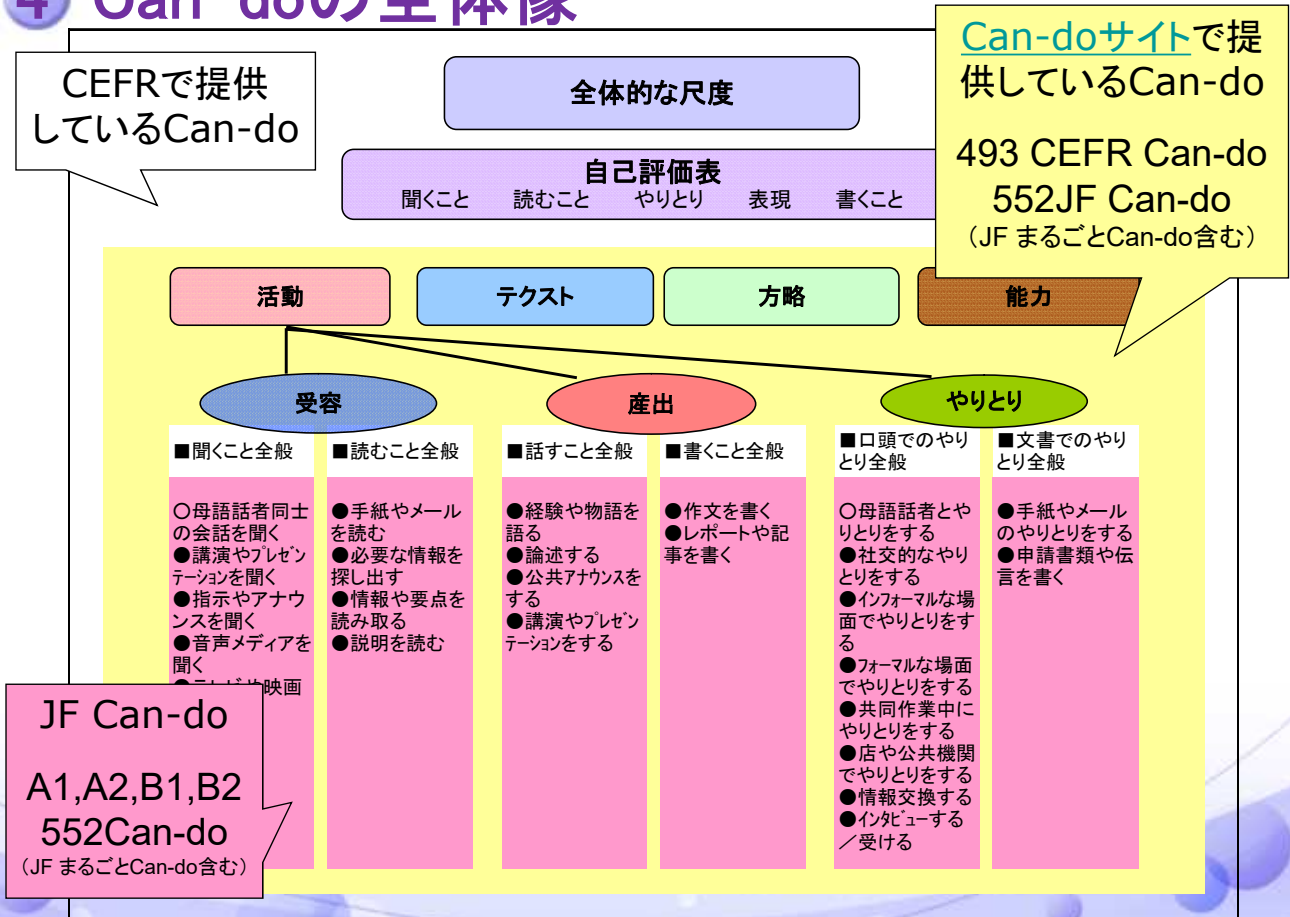
14

CEFR: 人に物事を要求し、人に物事を与えることができる。

JF : 食卓で、「しょうゆを取ってください」「おかわりをお願いします」など、短い簡単な言葉で頼んだり、ゆっくりとはっきりと話されれば、頼まれたことに対応したりすることができる。

やりとり 25 共同作業中にやりとりをする

4 Can-doの全体像



<参考サイト>

JF日本語教育スタンダード

<https://jfstandard.jp/top/ja/render.do>

みんなのCan-doサイト

<https://jfstandard.jp/cando/top/ja/render.do>

<活用事例>

まるごと「日本の文化とことば」

<https://www.marugoto.org/>

まるごと+（まるごとプラス）

<https://marugotoweb.jp/ja/>

JFロールプレイテスト

<https://jfstandard.jp/roleplay/ja/render.do>